岡山大学

経済学部

OKAYAMA UNIVERSITY
FACULTY OF ECONOMICS

● 経済学科

昼　間コース

夜間主コース

OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く

2019年度 学部案内

学部長からのメッセージ

グローバルな視点を持ち、自分で考え行動を！

経済学部長　張　星源

私たちの経済学部は、1980年の法文学部の改組によって分離・誕生しました。その後、昼間コースと夜間主コースの整備や組織経営コースと会計プロフェッションコースの設置等を通じて、社会から多様なニーズにこたえる教育体系が整備できました。2016年度からカリキュラム改革に伴い、グローバルな視点を持ち、様々な分野で創造的に活躍できる人材を育成するためにユニット・モジュール制をはじめ、教育効果を高める最新のカリキュラムを導入し、複数の留学プログラムも用意しています。また、地域企業との連携によるPBL（Project-Based Learning：問題解決型学習）や異文化環境でご活躍されている企業人による英語講義といった実践的教育が充実されています。

今日の経済社会はさまざまな課題に直面していますが、自ら課題を発見し、その解決法を考えるにあたって、幅広く深い教養、高度な専門的知識、しっかりした社会人基礎力とコミュニケーション能力を身につけることが必要だと思います。子曰く、「学びて思わざれば則ち罔し、思いて学ばざれば則ち殆し」。知識を詰め込むばかりで、自分で思考しないかぎり本当の知識になりませんし、基本的な知識を備えなければ、独善的な考え方しかできません。私たちが目指している大学での学びはまさに孔子の言葉の通りです。

緑豊かな岡山大学キャンパスで、一緒に学んでみませんか。

Contents

02頁 ▶ 学部長からのメッセージ
03頁 ▶ 教育理念・目的・養成する人材像
04頁 ▶ コース紹介
　昼　間コース…04頁
　夜間主コース…08頁
09頁 ▶ 学生サポート
10頁 ▶ 特色ある講義
11頁 ▶ 海外留学
12頁 ▶ 進路状況
13頁 ▶ 卒業生からのメッセージ
14頁 ▶ 入試

経済学部アドミッションポリシー

経済学部は、以下のような学生がそれぞれの個性を生かしながら学び、将来の進路・目標を考えてゆくことを期待します。

1．経済問題・社会問題に関心がある人

2．論理的に考えること、もしくは数学を用いた分析が好きな人

3．発言や行動が積極的で、民間企業、官公庁、ＮＧＯやＮＰＯ等の組織の中でリーダー的な役割を果たしたいと望む人

4．英語をはじめとした外国語を駆使して、国際的な舞台で活躍したいと希望する人

5．弱者にたいする思いやりと社会における公正を大切にして、人々のために働く情熱を持った人

とくに夜間主コースでは、経済的な事情などで昼間働きながら勉強を続けたいという意欲のある人、あるいは既に社会で一定の役割を果たしていながら、なお自己の可能性を追求し能力を向上させたいと考える人を歓迎します。

教育理念・目的・養成する人材像

1. 教育理念

経済学・経営学・会計学に関する専門教育と、幅広い知的関心と深い人間性を養うための教養教育を通して、実社会で活躍していくための力（専門性、独創性、応用力、コミュニケーション能力等）と人間社会を支える諸原理についての認識及び理想とを合わせもった人材を育成します。その育成のプロセスにおいて、真理を探究することの喜びと難しさを知的に体験させることによって、職場や社会において直面する様々な問題の解決に積極的・意欲的に取り組むことができる高度な人間力を涵養していきます。

2. 教育目的

経済学・経営学・会計学に関する専門的な学術知識を教授するとともに自ら研究することを促し、現在および将来の社会的要請に応えうる人材を育成することを目的とする。

3. 養成する人材像

(1) 温かい心と冷静・合理的かつ柔軟な思考、そして不屈の精神で社会や経済が直面する諸問題に積極的・意欲的に取り組む人材。
(2) 経済・経営に関する専門的な知識と分析手法を身につけ、民間企業、官公庁・国際機関、ＮＰＯ・ＮＧＯといった国内外の組織において指導的立場で活躍する人材。
(3) 高度専門職業人（公認会計士、税理士、ファイナンシャル・プランナーなど）や高等学校教員（商業科）、研究職を目指して大学院へ進学する人材。
(4) 国際的に認められる水準の英語能力と高度なコミュニケーション能力とを駆使して、グローバルな舞台で活躍できる人材。

旧制六高の伝統

岡山大学は、1949（昭和24）年４月に新制大学として、５学部（法文、教育、理、医、農）・１研究所・附属図書館・附属病院の体制で創立されました。その後、1965（昭和40）年４月に法文学部に経済学科が設置され、そして1980（昭和55）年４月に法文学部から、文学部、法学部・法学部第二部、経済学部・経済学部第二部が分離・改組されたのが学部としての始まりになります。

岡山大学の創立に際して、その母体の一つになったのが旧制第六高等学校（以下、「旧制六高」）です。旧制六高は、1900（明治33）年に創立されました。この学生が、当時のエリートとして、学・政・財界で幅広く活躍していたことは有名です。岡山大学経済学部は、この旧制六高・文科の精神を引き継いでいます。

なお、岡山大学の敷地は、国立大学でトップクラスの広さです。この地に大学を設置するに際して、六高校長であった黒正巖が大きな役割を果たしました。その功績を称え、卒業式では、成績優秀者に「黒正賞」を授与しています。

黒正　巖 像

沿革

1900年３月	第六高等学校の創立
1949年５月	岡山大学の創立 法文学部／教育学部／理学部／医学部／農学部 医学部附属病院／放射能泉研究所／附属図書館
1977年４月	大学院経済学研究科（修士課程）を設置
1980年４月	法文学部から文学部、法学部（同第二部）、 経済学部（同第二部）を分離・改組
1993年４月	大学院文化科学研究科（博士課程）を設置
2004年４月	大学院文化科学研究科を改組 経済学部第二部を夜間主コースへ改組
2006年４月	大学院を社会文化科学研究科へ改組・名称変更 組織経営専攻（ビジネス・スクール）を新設
2008年４月	経済学部経営・会計コースを分離し、組織経営コースと会計プロフェッションコースを設置
2016年４月	カリキュラム改革（昼間コースに60分・クォーター制とユニット・モジュール制を導入、夜間主コースに総合学修コースと実践力強化コースを設置）

JR岡山駅前の六高学生像

コース紹介

経済学部には、８時40分～18時30分の時間帯に授業が行われる昼間コースと18時～21時10分の時間帯に授業が行われる夜間主コースがあります。前者は一般学生に配慮したコース、後者は社会人・勤労学生に配慮したコースです。

経済学部では、時代の要請に応えて地域社会から国際社会に至るさまざまな分野で創造的に活躍できる人材を育成するために、平成28（2016）年度から、新カリキュラムがスタートしました。このカリキュラムの具体的な構成は昼間コースと夜間主コースで異なりますが、経済学・経営学・会計学の３つの領域を広く深く学べることと、学生が一方的に話を聴くだけでなく能動的に取り組めるようにしたことが両コースに共通した大きな特長です。

昼間コース

■ カリキュラムの特色 ■

1．ユニット・モジュール制

経済学部ではユニット・モジュール制を導入し、一人一人が夢の実現に向けた最適な科目履修ができるようにサポートしています。専門科目を数科目ずつ小科目群（ユニット）に分類し、さらに内容や特色の近いユニット同士をモジュールと呼ばれる科目の系統に編成しています。これにより、関心のある分野を重点的に深めること（系統履修）が容易となりました。また、ユニットやモジュール、個々の科目を自由に組み合わせて、知識・能力の幅を拡げること（横断履修）も奨励しています。

取得可能な免許

高等学校教諭一種免許状　商業

※ただし通常講義以外に必要な授業を別途履修し、教育実習を受け、必要な単位を取得する必要があります。

2．アクティブ・ラーニング（AL）型科目と実社会連携科目

学生が能動的に学ぶ科目として選定図書レポート・基礎研究・実践コミュニケーション論・高度学修指導・卒業研究・卒業論文などがあります。また、実用的な英語力を身につけるための科目や地域や世界の状況と実社会に密着した科目も充実しています。

3．60分・4学期制

1回の授業時間は「60分＋休憩＋60分」で、大部分の科目が8週間で完了します。集中力を保ちながら、十分な時間をかけて丁寧に学ぶことができます。

モジュールの紹介

経済分析モジュール
経済を理論とデータから捉えよう

経済法則を体系化した理論とデータを用いて経済現象を分析するために必要な知識や方法を習得します。経済活動の仕組みを描写する基本的な原理や、経済データを適切に読み解く上で欠かせない道具となる統計的手法を始めとして、経済現象への分析力を培う科目が設けられています。現実社会の抱える経済問題を理論とデータから多面的に捉える能力を身につけたい人向けです。

政策モジュール
身近な経済問題を楽しく学ぼう

最新の経済理論を用いることで、論理的な思考に基づいた経済現象の本質的理解が進みます。また、データに基づいた分析を行うことで、客観的に物事を把握する目が養われます。対象とする分野は、財政、金融、環境、都市、労働、社会保障、国際経済など、実生活に密接に関係する事象を多数扱います。社会を見る幅広い目と物事の本質を客観的・論理的に把握する能力を養いたい人向けです。

国際比較モジュール
歴史と地域を軸に比較経済を学ぼう

経済のグローバル化を理解するために有効な方法が比較です。ここでは、「地域」の視点から、世界経済論、ヨーロッパ経済論、現代中国経済論などを学び、国際経済の現状を認識します。 また「過去と現在」の視点から、経済史（欧米・東洋・日本）、経済思想史、経済学史などを学び、過去と照らし合わせて国際経済の現状を相対化します。経済のグローバル化をより深く理解したい人向けです。

組織経営モジュール
現代のマネジメントを学び、考えてみよう

民間企業や非営利組織（NPO）など、我々を取り巻くさまざまな組織に関わる幅広い問題を考察し、組織現象への洞察を深めることを目指します。経営戦略論・経営組織論・組織行動論・リーダーシップ論・日本企業論・国際経営論・マーケティング論・ファイナンス論などの経営学の主要な科目を学び、経営学の視点から問題解決能力を養い、官・民の実務界で活躍したい人向けです。

会計学モジュール
幅広い素養と深い専門性によって、的確な判断力を身につけよう

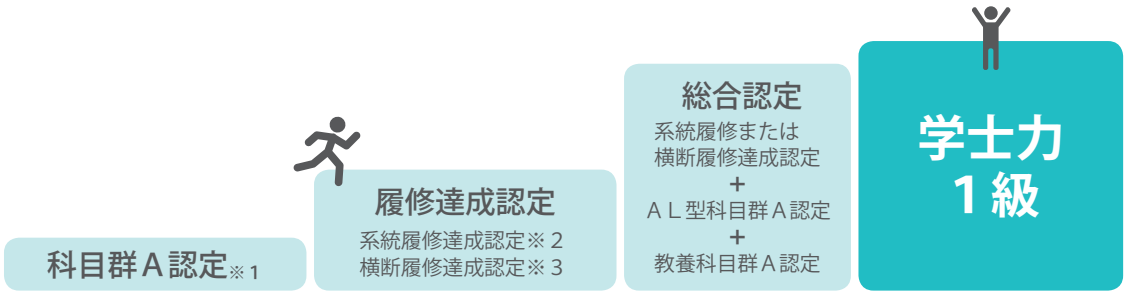
企業会計は、経済社会において重要な役割を果たしており、上場会社等の経営の現状や日本経済を理解するうえで、必要な学問領域となっています。社会で生起している経済事象に目を向けながら、会計学の基本的な考え方や企業会計制度などについて、体系的に学習するためのカリキュラムが設けられています。在学生や卒業生の中から公認会計士試験合格者や簿記検定試験1級合格者を輩出しています。

社会人基礎モジュール
グローバルな舞台で活躍する力を身につけよう

「社会人基礎力」、「外国語コミュニケーション能力」、「異文化理解力」を備えたグローバル人材を育成する科目群です。社会人基礎力を涵養する「実践コミュニケーション論」、実践的な上級英語力の育成を目指す「各国経済・ビジネス事情in English 1・2」、専門分野に関わる英語力の強化を目指す「経済英語Ⅰ・Ⅱ」、中国・韓国の経済・社会・文化をより深く学ぶ「隣人を知ろう！」学生交流プログラムなどがあります。

優秀学生認定プログラム

優れた学修成果をおさめた学生には、達成時点で認定証が授与されます。所定の成績基準にもとづく評価で、ユニットのレベルからさまざまな段階・種類の認定があります。学修目標の設定・得意分野の発見・就職活動でのアピール等に大いに役立ててください。



※1…ユニットごとにそのGPAが2.5以上になった場合に認定
※2…同じモジュールでA認定のユニットが二つ以上
※3…異なるモジュールの3つ以上のユニットでA認定
（GPAとは、大学で用いられる成績の指数のこと。2.5以上は100点満点の80点以上に相当する）

履修モデル

学生の多彩な進路に合った履修モデルの例を示しました。経済学部では、一人一人が自分なりの進路を見つけて最適な科目履修ができるようにサポートしています。

生きた経済を見つめる金融人　Aさん

ストーリー：金融関係の仕事を目指して関連科目を重点的に履修する傍ら、ファイナンシャル・プランナーの資格も取得。金融政策を卒業研究のテーマに取り上げ、大手都市銀行へ就職。
履修プラン：経済動向にたいする判断力と企業経営にたいする理解力を高めるため、コア理論分析・金融経済・組織マネジメント・会社理論などの科目ユニットを学ぶ。

グローバルに活躍する企業人　Bさん

ストーリー：各国経済・ビジネス事情 in English での魅力的講師陣との出会いや、日中韓同時学生交流におけるアジア圏学生との交流により、グローバル人材への志を抱いた。長期留学を経て、海外展開する企業へ。
履修プラン：留学等の経験を積み、世界・地域の経済社会の歴史と現状にたいする認識を深めるため、国際比較モジュールと社会人基礎モジュールの科目を中心に学ぶ。

地域経済を支えるグローカル企業人　Cさん

ストーリー：卒業後は出身地で堅実な人生を歩む予定で、経営学・会計学の科目履修と簿記・会計・不動産関係の資格取得に励んだ。プレゼンテーション力やコミュニケーション力も高め、地元の有力住宅会社へ。
履修プラン：実践仕事力ユニットの科目やインターンシップで実社会の仕事にたいする現実感覚を養うため、組織経営モジュールと会計学モジュールの科目を中心に学ぶ。

より良い社会づくりに奉仕する公務員　Dさん

ストーリー：郷里の山間部の産業構造・就業構造・所得構造と自然環境を分析し、都会人の少額出資による里山型リゾートと希少樹木の植林を組み合わせた50年プランを構想した。地域興しを担う町役場職員に。
履修プラン：経済分析モジュールと政策モジュールの科目を中心に学び、卒業研究の過程で今日の社会が抱える問題とその解決策を理論的・実証的に考察する。

未来を創造する起業家　Eさん

ストーリー：商店街の空店舗を学生のシェアハウスや少人数学修・課外活動の拠点として再生させる試みを、卒業後に賛同者・出資者を募って展開した。 やがて商店街全体を巻き込んだ一大運動へと発展。
履修プラン：事業マネジメント・地域経済・法学部開講科目などのユニットを横断的に学び、将来のビジネスや社会貢献に役立つ構想力を磨き、アイディアを練る。

大学院進学者・高度専門職業人　Fさん

ストーリー：指導教員にフィールドワークの手解きを受け、1年次の夏休みから地域の高齢者宅を回って聴き取りと資料収集を続けた。家電普及期の家計分析で発見があり、学部段階で学会誌に論文を掲載、大学院へ。
履修プラン：高度学修指導プログラムの中で、必要な授業科目・科目ユニットを自在に組合せて学び、高度な卒業論文の執筆や公認会計士等の難関試験に挑戦する。

（＊上記の例は、いずれも実在する学生のものではありません。）

在学生の声 VOICE

自分の“好き”を学びに！

経済学部は数学的な考え方が求められることが多く、統計などの数学の授業で、最初は苦労したのを覚えています。しかし、様々な講義を受けて経済学の知識を増やしていくにつれて普段の社会のニュースがちょっと深く理解できるようになったりして、日々の勉学の成果を実感しています。もちろん中には難しい内容もありますが、周囲の友達とともに学びを深められるので充実した毎日を送っています。経済学部は自分の興味に合わせて柔軟に講義を履修できるので、課外活動など色々なことにも取り組めるのが良いところだと思います。

堀内　脩平　2年次生
岡山県　倉敷南高等学校卒業

学び・時間・進路の「幅広い選択肢」！

経済学部では、経済・経営・会計を中心に様々な分野があり、全分野の科目を自由に選べます。重点的に一分野を極めることも、広く知識やスキルを身に着けることもできます。また、大学生活では、学業に限らず、留学やサークル、バイト、趣味等に打ち込める時間も豊富にあり、大学生の今しか経験できない「何か」を見つける楽しみがあると思います。そして、進路の選択肢も幅広いです。私が地元の地方公務員を志す一方で、金融等の民間企業や起業、留学の経験を活かした国際職等を志す方もいます。大学生活を通じ、自分に合った進路がきっと見つかると思います。

長尾　美希　3年次生
香川県　高松高等学校卒業

３年間を振り返って

岡山大学経済学部では、専門を極めるだけでなく幅広く学ぶことができます。私は、財務会計のゼミで議論したり、簿記の資格試験に挑戦したりする中で、会計学を専門的に学びました。経済学や経営学、会社法など幅広く学ぶ際には、会計の視点を持った上で新たな視点を学ぶことができたので、より深い学びになったと実感しています。学部の授業以外では、アルバイトやボランティア活動、語学留学の経験を通して、実体験として経済を身近に意識することが多くなりました。

川﨑　加奈子　4年次生
岡山県　岡山朝日高等学校卒業

夜間主コース

夜間主コースは、昼間働きながら夜間に講義を受けて、卒業に必要な単位を修得すれば、４年間で卒業できます。また、昼間コースの科目や法学部の科目、放送大学の科目（有料）も範囲内であれば履修可能です。なお、４年間で単位を修得することが難しい人には、５年間学んで卒業できる長期履修制度（ただし、授業料は４年間分）もあります。

さらに、夜間主コースの授業料は、昼間コースの半額ですので、経済的な負担も軽減されます。働いている人、家事をしている人等様々な人との出会い・交流もあり、より幅広い学生生活が体験できます。平成28年度から、新たに「総合学修コース」と「実践力強化コース」（以下に説明があります）の２つのコースが設けられ、より社会生活に対応した履修が可能です。また、資格（税理士等）を目指して学習することも可能です。いろいろなことにチャレンジできます。

■ カリキュラムの特色 ■

1．総合学修コースと実践力強化コース

専門科目は、授業を講義形式で行う科目（経済・経営基盤科目群）と演習形式で行う科目（経済・経営実践科目群）に大別されます。新カリキュラムでは、前者を精選する一方、後者を飛躍的に増やしました。これらに教養教育科目を加えた三つの科目群をバランス良く学ぶのが総合学修コース、教養教育の割合を小さくし、そのぶん演習型科目を多く学ぶのが実践力強化コースです。二つの履修コースは自由に選択できますが、高校を卒業して間もない人には総合学修コース、実社会である程度のキャリアを積んだ社会人・職業人学生には実践力強化コースがお勧めです。

１年次	２年次	３年次	４年次
教養教育科目 修学の方法、知的理解〔社会・生命・自然〕、言語、芸術、情報、キャリア教育 など			
総合学修コース 【経済・経営基盤科目群】【経済・経営実践科目群（演習Ａ、演習Ｂ）】			
実践力強化コース 【経済・経営基盤科目群】【経済・経営実践科目群（演習Ａ、演習Ｂ）】			
自由選択科目 特殊講義、テーマ学修、卒業論文、昼間コース科目、法学部専門科目、放送大学科目			

取得可能な免許

高等学校教諭一種免許状　商業

※ただし通常講義以外に必要な授業を別途履修し、教育実習を受け、必要な単位を取得する必要があります。

2．テーマ学修・昼間コース科目・放送大学科目

授業の多くは、他の科目にあまり依存せずに理解可能な完結型の内容になっています。関心のある分野や問題を長期に渡って深めたい場合には、希望する教員のもとでテーマ学修や卒業論文にチャレンジしてください。昼間コースの科目や法学部・放送大学の科目も履修できます。

3．90分・セメスター制

授業時間は１回90分で１限目が18時～19時30分、２限目が19時40分～21時10分です。学期は前期・後期の２学期制で、夜間の科目履修だけでも４年間で卒業できます。

優秀学生認定プログラム

優れた学修成果をおさめた学生には、達成時点で認定証が授与されます。なお、夜間主コースの学生が昼間コースの科目を履修して認定要件を満たした場合には、その認定証も授与されます。

科目群A認定※1

コース優秀認定
実践力強化コース優秀認定※2
総合学修コース優秀認定※3

総合認定
いずれかのコース優秀認定
＋
教養科目群A認定

学士力1級

※1…科目ごとに成績の良かった20単位（10科目）のGPAが2.5以上になった場合に認定
※2…基盤科目群A認定＋実践科目群A認定かつ34単位以上修得→実践力強化コース優秀認定
※3…基盤科目群A認定＋実践科目群A認定→総合学修コース優秀認定
（GPAとは、大学で用いられる成績指数のこと。2.5以上は100点満点の80点以上に相当する）

在学生の声 VOICE

勉強もしっかり！勉強以外もしっかり！

問田　弥聖
4年次生
岡山県　岡山南高等学校卒業

夜間主コースは授業の時間が夜に固定されているので、昼間にしっかりアルバイトができたり、趣味やボランティア、サークルに没頭できたりすることが魅力的です。昼間の授業をとって1日しっかり勉強する日も作れます。また、学年が上がると経済・経営・会計のどの分野の演習科目もたくさん開講されているので、それぞれがより深く学習できるのと同時に、プレゼンテーションやディスカッションの体験を多く得られます。1つ1つの授業が自分の力を伸ばす機会になり、より実りのある学生生活に繋がっていくと思います。

夜間主コースだからこそ出来たこと

中村　あゆみ
4年次生
岡山県　倉敷商業高等学校卒業

私は昼間はしっかりアルバイトをしながら夜は大学で勉強ができ、なおかつ昼間の講義も受けられるという点に惹かれ夜間主コースに入学しました。昼よりも少人数な講義も多いため、学生同士でコミュニケーションを多く取れることも魅力の一つだと思います。また、夜間主でも経済学部の講義に限らず、法学部の講義や他の科目も受講出来るため、様々な内容を学ぶことが出来ます。夜間主コースでは、学ぶ意欲が高く、様々な知識を持っている社会人学生の方も一緒に講義を受けるため、とても良い刺激になり広い考え方を持てるようになりました。

学生サポート

経済学部教育研究支援室

経済学部教育研究支援室は、学生、教員、研究者などの教育・調査・研究活動の支援をするところで、経済学部が独自で運営しています。

支援室では、経済学・経営学・会計学に関する雑誌、本、新聞、DVD、データベースなどを取り扱っており、これらの資料の貸出や閲覧のサービスを行っています。

また、レポートや論文作成に必要な情報収集のサポートもしています。

そのほかに、経済学部の先輩たちの卒業論文や大学院生の修士論文を読むことができます。

学習スペースやカフェコーナーがあり、読書・学習の場、憩いの場として利用されています。

開室時間

月～金（祝日除く）　9：00～16：00

支援室Webサイトの URL
http://www.e.okayama-u.ac.jp/r_support/

特色ある講義

経済学部では、社会や地域の現実を理解すること、社会の中で必要とされる力を身につけることを目的とし、企業や経済団体等の協力を得て、さまざまな講義を行っています。

経済経営特殊講義

岡山県の企業経営者等６～７名によるオムニバス形式の講義で、企業・機関の経営理念や具体的な企業活動を題材に、企業（機関）の経営一般のあり方や経済の現場の見方等を学びます。

この講義を通じて、卒業後、どのような業種、ビジネス・モデルを持つ企業に就職するのか、起業するにはどのような能力が必要なのか、これらの企業を誘致・育成していくためにはどのような施策が必要なのか等を自ら考える力が身につくことと思います。

現代地方自治経営論

岡山県庁等、地元自治体から講師を迎え、地方自治の現状と課題及び様々な取り組みについて学びます。

講義の目的

1. 地方自治のあり方と仕組みについて知ってもらうこと
2. 現在の地方自治の諸問題とその解決への具体的な取り組みを岡山県および岡山市の事例を踏まえながら知ってもらうこと
3. 地方自治に関するこれらの諸問題に対して自分なりの解決の仕方や自分が関与できることを主体的に考えてもらうこと

現代中小企業論

岡山県中小企業家同友会が提供する講義で、日本経済を支える中小企業の現状を現場の声から学びます。現役経営者のさまざまな失敗と成功の実体験にもとづくこの講義は、リアルな実例も豊富で、学生にたいへん好評です。

資本市場の役割と証券投資

この講義では、株式や債券、投資信託への投資に関する実践的な知識を、毎回各分野の専門家が交代で分かりやすく解説します。この講義の内容は、単に実践向きというだけでなく、経済・経営・会計の授業で学んだ知識を応用し、さらに深め、発展させていくことにも活用できます。

アクティブ・ラーニング：実践型講義の紹介

留学生の学びの場「日本経済事情IA、IB、IIA、IIB」

経済学部の留学生を対象とした授業です。

留学生が新聞・雑誌の経済欄あるいは専門書を読むために必要な日本語能力を養成することを目的としています。「IA」「IIA」は第二次世界大戦後の日本経済史を、「IB」「IIB」では経済のみならず、日本社会や政治、文化を学ぶことのできる教材を使用して勉強しています。テキストの輪読のほか、ディスカッションや発表も取り入れて留学生が活発に参加する授業となっています。

「各国経済・ビジネス事情 in English １、２」

この講義は、異文化環境で就業経験を持つ外部講師数名によるオムニバス形式の英語の講義で、ディスカッションやワークショップなどを行っています。すべて英語で進められるため、TOEIC650点以上の学生が対象となっています。

基本的な授業の構成

Class 01–02: Introduction
Class 03–04: Group work practice
Class 05–28: Guest speaker lectures and discussion
Class 29–30: Group work for poster session
Class 31–32: Poster session

海外留学

EPOK Exchange Program Okayama

短期留学制度（EPOK）は、アメリカなど９ヵ国31大学に留学する制度です。経済学部からも毎年、数名の学生を派遣しています。派遣学生は、原則として秋から翌年にかけての１年間を相手校で学びます。学部の卒業単位に振り替えることができ、留学期間１年を含めて４年間で卒業することが可能です。留学先の大学の授業料は免除されます。渡航費と生活費は自己負担ですが、奨学金制度の申込みもできます。

EPOKの他にも、夏期（５ヵ国）、春期（２ヵ国）の長期休暇を利用した４週～５週間の語学研修から、韓国や中国の大学で１年間語学や専門科目を学べるものまで、様々な留学プログラムを用意しています。在学中に必ず海外に留学するグローバル人材特別コースを履修することも可能です。

アルバータ大学（カナダ）

短期海外研修

「隣人を知ろう！」
学生交流プログラム

提携校の中央財経大学（中国）、江原大学校（韓国）と、持ち回りで夏期短期海外研修を実施しています。毎年10名程度の学生を派遣しています。

経済学部学生の国別派遣留学生数

	2016年度	2017年度
オーストラリア	2	1
アメリカ	3	6
ドイツ	1	1
韓国	1	1
中国	2	0
カナダ	1	2

各年度に出発した数

交換留学

韓国の江原大学校経営大学（日本の経営学部に相当）との交換留学を実施しており、そこで経営学と経済学の分野を学べます。

留学は原則として９月から１年間となります。留学先で取得した単位は卒業単位に読み替えることができ、留学期間１年間を含めて４年間で卒業できます。渡航費と生活費は自己負担ですが、江原大学校の授業料は免除されます。

また、EPOKと同様に奨学金制度を利用できるチャンスもあります。

江原大学校（韓国）

海外特別演習制度

経済学部には、海外特別演習という制度があります。これは、個別の学生ごとに海外で学ぶプログラムを作成し、それに沿って海外で活動をする授業です。担当の教員より、事前指導、事後指導を受けながら学ぶ、実践的な教育プログラムです。これまで、世界ユースサミットへの参加、海外研究者への聞き取り調査など、様々なプログラムを通じて学生が海外で学んでいます。

学生の声 VOICE

留学体験記　オーストラリア・アデレード大学（2016年4月～2016年12月）

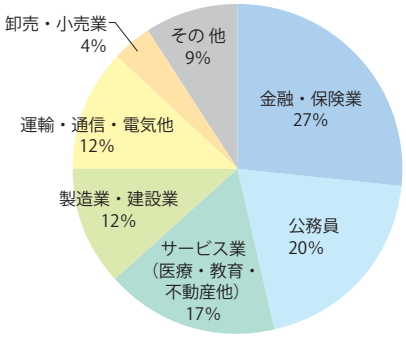
留学から得られた大きな恩恵の一つは、個性豊かな友人たちとの出会いにあると思います。母国も文化も違う彼らと交流していく中で、語学修得の一環となったことはもちろん、様々な考え方に触れることで私自身の物事の考え方に対する視野が広がりました。

大学生活では、少人数でのグループワークを通じてディスカッションをする機会が十分に与えられ、より自発的に授業に参加できる環境の中で、有意義な経験を積むことができました。

山田　雅統
4年次生
香川県　三木高等学校卒業

進路状況

2018年３月卒業生の就職状況



業　種	昼間コース	夜間主コース	合　計
金融・保険業	57	9	66
公務員	45	3	48
サービス業(医療・教育・不動産他)	33	8	41
製造業・建設業	26	4	30
運輸・通信・電気他	24	5	29
卸売・小売業	6	4	10
その他	18	3	21
卒業者数	209	36	245

■ 過去の就職先

製造業・建築業

ＮＴＮ	グローリー	サッポロビール	ダイハツ工業
大塚製薬工場	小松製作所	タカラスタンダード	中国精油
関西ペイント	ダイキン工業	萩原工業	東ソー
ｺｶ･ｺｰﾗ ｳｴｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	宝酒造	ハウス食品	富士ゼロックス
住友電工	ナカシマプロペラ	日立製作所	三菱電機
太平工業	平林金属	富士重工業	四電工
日立電線	フジプレアム	三菱重工	JFE スチール
富士通テン	森松水産冷凍	エーザイ	日本ハム
三菱農機	一条工務店	川崎重工業	デンソー
アサヒ飲料	カルビー	神戸製鋼所	デサントジャパン
岡山村田製作所	廣榮堂	塩野義製薬	

金融業・保険業

ＳＭＢＣフレンド証券	十八銀行	長崎銀行	りそな銀行
大分銀行	中国銀行	百十四銀行	JA 共済
高知銀行	トマト銀行	三菱UFJモルガンスタンレー証券	日本政策金融公庫
島根銀行	野村證券	ゆうちょ銀行	みずほフィナンシャルグループ
大和証券	三井住友海上火災保険	愛媛銀行	播州信用金庫
鳥取銀行	山口銀行	京都銀行	
日本生命	伊予銀行	静岡銀行	
明治安田生命	鹿児島銀行	徳島銀行	
阿波銀行	滋賀銀行	日本銀行	
香川銀行	新光証券	広島銀行	
山陰合同銀行	東京海上日動	三菱 UFJ 銀行	

運輸・通信・電気　他

JR 西日本	ＴＩＳ	両備ホールディングズ	ＮＴＴデータ中国
NTT 西日本	シンフォーム	NTT コミュニケーションズ	大塚商会
四国電力	日本通運	伊藤忠テクノソリューションズ	中国電力
トスコ	日本アイ・ビー・エム	セリオ東洋グループ	山九
両備システムズ	日本ヒューレット・パッカード	富士通	岡山ガス
NEC システムテクノロジー	日本郵政	富士通マーケティング	NTT ドコモ

卸業・小売業

青山キャピタル	大黒天物産	ザグザグ	ボッカクリエイト
岡山丸果	ナンバ	ジャパネットたかた	ユーシーシーフーヅ
第一実業	イオンリテール	高島屋	東京青果
トヨタカローラ岡山	イズミ	伊藤忠商事	
青山商事	カワニシ	ソニーリージョナルセールス(株)	
山陽マルナカ	キリンビール	天満屋	

サービス業（医療・教育・不動産　他）

赤木洋児税理士事務所	岡山商工会議所	長谷川会計	三宅会計事務所
岡山県信用保証協会	日本赤十字社	毎日コミュニケーションズ	有限責任監査法人トーマツ
田中会計税務事務所	ベネッセコーポレーション	国立病院機構	マイナビ
フジテレビジョン	吉田・内田税理士事務所	石井会計	パソナ
山本総合会計事務所	穴吹興産	全国農業協同組合連合会	
有限責任あずさ監査法人	香川県農業協同組合	兵庫みらい農業協同組合	

公務員等

岡山県庁	兵庫県警察	広島県警察	松山市役所
広島県庁	姫路市役所	神戸市役所	今治市役所
徳島県庁	倉敷市役所	姫路市役所	四国運輸局
岡山県警察	山口市役所	東京国税局	中国運輸局
岡山市役所	福岡市役所	四国公安調査局	岡山市消防局
大阪国税局	広島国税局	岡山地方検察庁	岡山労働局
中国財務局	四国財務局	徳島大学	国土交通省
中国地方整備局	総務省	長崎税関	財務省
神戸大学	島根大学	熊本県庁	農林水産省
兵庫県庁	鳥取県庁	島根県庁	環境省
山口県庁	香川県庁	愛媛県庁	
高知県庁	東京都庁	広島市役所	

大学院進学

大阪大学経済学研究科	青山学院大学大学院	岡山大学社会文化科学研究科	岡山大学法務研究科
京都大学大学院	神戸大学経済学研究科	東京工業大学大学院	一橋大学大学院

インターンシップ

就職前に実際の企業や官公庁等に行って就業体験を行うインターンシップは、３年次生時の夏季休業時の２週間に実施しています。過去、インターンシップ実習先としては、企業をはじめ、官公庁（県庁、市役所）、税理士事務所、NPO組織等があります。

また、実習先としては、学部独自に依頼した企業・官公庁・税理士事務所、キャンパスウェブ・システムに登録された企業等から選ぶことができます。

報告会では、「自分を見つめ直すことで長所・短所を発見した」、「職業観が身につき、就労・修学意欲が向上した」等の感想が発表されています。

2018年３月卒業生の公務員試験合格の実績

経済学部には公務員を目指す学生も多くいます。公共のために働きたいと思う人にはやりがいのある仕事です。 公務員試験に合格するためには、計画的な試験勉強が必要です。必ずしも簡単ではありません。そのような中、経済学部からは、多くの学生が合格しています。

国家公務員	18人
都道府県職員	13人
市町村職員	17人

卒業生からのメッセージ

幅広い体験重ねて

大学卒業後、地元・岡山の山陽新聞社に入社し、高松支社（香川県）、本社運動部、経済部での記者を経て、2017年９月から社長室秘書部兼経営企画部に勤務しています。山陽新聞のような地方紙は、地域をよりよくするための問題提起や検証、注目すべき企業や人物の紹介といった地元に寄り添う記事が欠かせません。最も長い７年半所属した運動部時代には、サッカーＪ２のファジアーノ岡山などプロから部活動まで幅広いカテゴリーの競技を追いかけ、現場で感じた感動、興奮を伝えることに心を砕いていました。

大学時代を振り返るとゼミでの企業視察やディベート大会を通じ、現場へ足を運び、より多くの人と意見を交わす重要性を学びました。半面、ボランティアや旅行など見聞を広めるための経験にもっと取り組めばよかったと反省しています。皆さんは、勉強だけでなく学生時代だからこそできる幅広い体験を重ね、社会へ飛び立つ準備を進めてもらいたいと思います。

山陽新聞社勤務

橋 本 直 樹

2003年３月卒業

専門性と教養を身に付ける

私は３年次に公認会計士試験に合格し、卒業後は、監査法人、M＆Aコンサルティングファームを経て、他の公認会計士と一緒に会計・財務に関するサービスを提供する会社を立ち上げました。私は主に、IFRS（国際財務報告基準）導入や財務デューデリジェンス、不正調査といった業務を提供しています。

経済学部は専門分野だけでなく周辺分野についても幅広く学べる点が魅力的だと思います。例えば私は会計学を専門としており、ゼミでは制度会計、経営分析、企業価値評価を中心に学びました。その一方で、組織経営やマーケティングといった経営に関する講義も積極的に受講しました。社会人になって最初は会計学しか業務に関係せず、経営学を意識することはありませんでした。しかしM＆Aに関するサービスを提供するには、買収後の組織統合やシナジーを検討するにあたって経営全般も議論していく必要があり、在学中に学んだ幅広い知識が活きていると感じます。

株式会社Atlas Accounting勤務

吉 田 浩 平

2010年３月卒業

富士通株式会社勤務

山 下 尚 記

2017年３月卒業

社会で活きる学びがある

卒業後、富士通株式会社に入社しました。年齢や考え、出身の異なる様々な仲間と共に、ICTを活用し、よりよい社会の実現に向けて取り組んでいます。

私が思う経済学部の特徴の一つは、他学部の学生と共に学ぶ機会があることです。様々な意見や考えを交えながら、本当の意味での「コミュニケーション」について学べる、珍しい取り組みを行っています。昨今、AIやICTなどの発達により、ビジネスは常に新しく複雑に変化しています。激動の時代の中で活躍できるビジネスパーソンとなるには、様々な考えを受け入れる「柔軟性」と、伝える・聴くという「コミュニケーション能力」が必須となります。経済学部では、専門的な知識に加え、ビジネスパーソンとして求められる能力も身に付けられる最適の環境です。最後に、学生生活とは何をやったかに意味があり、行動理由がその価値を高めます。限られた時間の中で、なりたい自分を描きながら価値のある学生生活を送ってください。

朝日新聞社勤務

平 尾 勇 貴

2018年３月卒業

自由闊達な環境を生かす

卒業後、言論空間に携わりたい、すごい人やモノを見てみたい、という思いで新聞業界に入りました。新聞社には記事を書くだけでなく、VR技術の研究、甲子園や美術展などの様々な企画の開催、ウェブサイトの運営等、様々な仕事があります。現在そうした業務に関わるビジネス部門に所属しています。まだ一年目ですが、刺激的でワクワクすることが多いです。

経済学部では、自由で開放的な時間を過ごしましたが、本だけは読もうと思い、哲学から物理学まで幅広く知見を広めました。サークルでは手話と短歌に出会いました。今では、手話は第二の母語、短歌は最も好きな言語表現です。また、友人有志との勉強会ではマルクス『資本論』等、ひとりでは読めない本を仲間とじっくり取り組むことの楽しさを知りました。そのどれもが、自由闊達な環境だからできたことです。四年間、こうした環境の中で培った知的好奇心と自律の精神は、いま働く上での原動力になっています。

入試

入試制度

入試制度については、いろいろな日程で、いろいろな入試（区分）があります。
詳しくは、入学者選抜要項（入試学生募集要項）や岡山大学のホームページを参照してください。

入試の概要（予定・2019年４月入学者対象）

入試区分ごとの概要（募集定員、試験内容等）と入試日程は、以下のとおりです。

１．昼間コース（定員数205人）※グローバル・ディスカバリー・プログラムの募集人員７名を含んだ数字です。

入試方法	募集人員	試験内容	出願期間	入試日程	合格発表
一般入試 前期日程	131人	・センター試験 ・個別学力試験	2019年１月28日 ～２月６日	2019年２月25日	2019年３月７日
一般入試 後期日程	25人	・センター試験 ・小論文	2019年１月28日 ～２月６日	2019年３月12日	2019年３月21日
推薦入試Ⅱ（※１）	40人 募集Ａ：10人※２ 募集Ｂ：30人※２	・センター試験 ・面接 ・書類審査	2019年１月21日 ～１月25日	2019年２月２日	2019年２月12日
帰国子女入試	若干人	・小論文 ・面接 ・書類審査	2019年１月28日 ～１月31日	2019年２月25日	2019年３月７日
私費外国人留学生 特別入試	若干人	・日本留学試験 ・TOEFL等 ・小論文 ・面接 ・その他	2019年１月28日 ～１月31日	2019年２月25日	2019年３月７日
国際バカロレア入試	２人	・書類審査	―	―	―

２．夜間主コース（定員数40人）

入試方法	募集人員	試験内容	出願期間	入試日程	合格発表
一般入試 前期日程	14人	・センター試験 ・個別学力試験	2019年１月28日 ～２月６日	2019年２月25日	2019年３月７日
一般入試 後期日程	６人	・センター試験 ・小論文	2019年１月28日 ～２月６日	2019年３月12日	2019年３月21日
推薦入試Ⅰ（※１）	15人 募集Ａ：10人※２ 募集Ｂ：５人※２	・小論文 ・面接 ・書類審査	2018年11月１日 ～11月８日	2018年12月１日	2018年12月14日
社会人入試	５人	・小論文 ・面接 ・書類審査	2018年11月１日 ～11月８日	2018年12月１日	2018年12月14日

※１：一つの学校当たりの推薦者数は４人以内です。
※２：「募集Ａ」は主に高等学校全日制課程の専門教育を主とする学科の卒業者および卒業見込みの者を対象としています。
「募集Ｂ」は、主に高等学校全日制課程の普通教育を主とする学科の卒業者および卒業見込みの者を対象としています。

入学定員・志願者数・合格者数

1．昼間コース

入試区分		2016年度	2017年度	2018年度
一般入試（前期）	入学定員	134	131	133
	志願者数	302	431	389
	合格者数	148	148	146
	入学者数	141	142	142
一般入試（後期）	入学定員	30	30	25
	志願者数	180	176	185
	合格者数	37	36	29
	入学者数	31	30	22
推薦入試Ⅱ	入学定員	40	40	40
	志願者数	81	91	83
	合格者数	42	41	42
	入学者数	42	41	42
帰国子女入試	入学定員	若干人	若干人	若干人
	志願者数	0	0	0
	合格者数	0	0	0
	入学者数	0	0	0
私費外国人留学生特別入試	入学定員	若干人	若干人	若干人
	志願者数	3	4	10
	合格者数	2	2	4
	入学者数	2	0	2
国際バカロレア入試	入学定員	若干人	若干人	若干人
	志願者数	1	1	0
	合格者数	0	1	0
	入学者数	0	0	0
合計	入学定員	204	201	198
	志願者数	567	703	667
	合格者数	229	228	221
	入学者数	216	213	208

2．夜間主コース

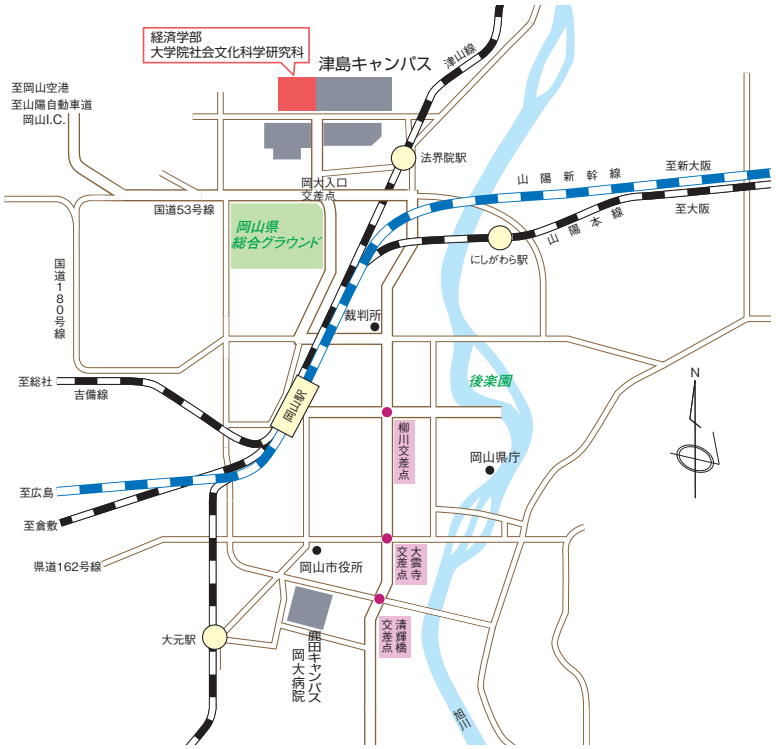
入試区分		2016年度	2017年度	2018年度
一般入試（前期）	入学定員	14	14	14
	志願者数	37	28	65
	合格者数	18	17	19
	入学者数	12	14	15
一般入試（後期）	入学定員	6	6	6
	志願者数	49	27	37
	合格者数	12	8	9
	入学者数	7	6	8
推薦入試Ⅰ	入学定員	15	15	15
	志願者数	37	32	37
	合格者数	18	19	18
	入学者数	18	19	18
社会人入試	入学定員	5	5	5
	志願者数	12	6	5
	合格者数	5	5	2
	入学者数	5	4	2
合計	入学定員	40	40	40
	志願者数	135	93	144
	合格者数	53	49	48
	入学者数	42	43	43

出身地別の入学者数

（昼間コース・夜間主コース）

都道府県/国別	2016年4月入学	2017年4月入学	2018年4月入学
北海道	2	1	
秋田			1
東京	1		1
静岡	1	1	
新潟			2
石川			1
福井	1		1
長野			1
愛知	2	1	1
三重			3
滋賀	1	1	2
京都	1	3	5
大阪	3	2	4
兵庫	24	35	34
奈良		1	1
和歌山	3	1	1
鳥取	10	5	5
島根	5	8	10
岡山	95	95	79
広島	14	19	14
山口	15	16	16
徳島	8	9	14
香川	18	16	17
愛媛	30	21	20
高知	7	5	5
福岡	1	4	7
佐賀	1	1	
長崎	4	1	1
熊本	4	1	
大分	3	6	3
宮崎	1		
鹿児島	1	2	
沖縄		1	
外国	2		2
計	258	256	251

アクセス



(1)　JR 岡山駅よりバス利用

JR 岡山駅運動公園口バスターミナル 22 番乗り場から岡電バス【47】系統に乗車し、「岡大入口」または「岡大西門」で下車（バス所要時間約 10 分）。

(2)　飛行機利用

（羽田空港から 1 時間 15 分、新千歳空港から 1 時間 50 分、那覇空港から 1 時間 55 分）
岡山空港から「岡山駅方面行」・ノンストップバスに乗車し、「岡山駅」で下車し、上記(1)へ（バス所要時間約 30 分）。
なお、ノンストップバス以外のバスの場合は「岡山大学筋」で下車し、徒歩約 7 分。

(3)　自動車利用

山陽自動車道「岡山ＩＣ」下車。岡山駅方面に国道 53 号を南下し、岡山大学筋交差点を左折、約 600mで西門。

(4)　JR 津山線を利用

JR 津山線「法界院駅」で下車　徒歩約 10 分

OKAYAMA UNIVERSITY
学　章

岡山大学　経済学部

〒700-8530　岡山市北区津島中三丁目1番1号
お問合せ窓口：　岡山大学経済学部教務学生グループ
Tel.[直通]:086-251-7365
編　　集　：　岡山大学経済学部広報委員会

http://www.e.okayama-u.ac.jp

岡山大学経済学部　検索